

## 随縁会(信徒会)の発足 (案)

檀家制度の廃止にともない、新しい信徒制度を構築すべく『随縁会』を発足させたいと考えます。

随縁の意味は「縁を尊び、仏に帰依し、縁に報いる」ということです。

仏教に帰依したことの証として縁を大切にし、縁ある人に対して自分を活かす、縁ある人への慈しみやほどこしを心がける、という教えがこの『随縁』には込められているのです。

宗教とは本来、もっとも自由な世界のものでないといけません。封建社会の江戸時代の遺物である檀家制度をやめて、我々は未来に向けての真の自由、自立を求めていくべきです。社会に対して覚醒を促していかなければならないのです。

見性院から日本仏教界を変え、その再生と発展に寄与していきたいと想います。

随縁会(信徒会)として新しい信徒思想を、万吉から日本全国へ発信していく時だと考えます。

随縁会は、護持会員・普通会員・自由会員で構成されます。(全て会費は無料)

家制度は、壊れており、さらに将来にわたりますます滅びて行くでしょう。

だから、会員は個人が中心となってまいります。今は、過渡期の対応が必要だと考えます。

1. 護持会員・・・見性院の方針・施策に賛同していただき、見性院を護持し、さらに見性院の発展に寄与していく人であり、また、曹洞宗の教義を信仰してそれを広め、信徒を増やしていく心を持っている人。
2. 普通会員・・・見性院の方針・施策に賛同していただきながらも、様々なしがらみなどがあり、現状では見性院とあまり関わらず、葬儀・法事などの宗教儀礼が必要な時のみ関与できる人をいいます。(いつでも護持会員に変更できます。)
3. 自由会員・・・見性院管理墓地を使用していますが、見性院との宗教的関係については、自由といたします。(見性院の方針・施策に賛同していただき、いつでも普通会員・護持会員に変更できます。)

日本は、刻一刻と人口減少へと動いており、従来の業態のままでは見性院も自然淘汰へと流されてまいります。伝統を守るためには改革が必要です。「みんなのお寺」と銘打ち、間口を広め信徒を増やす努力が重要だと考えます。

なお、葬儀・法事につきましては、どの会員も全く同じで違いはございません。

従来通りの対応とさせていただきます。

※ 見性院からの活動についての通知は、護持会員・普通会員のみとなります。